

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日中交流センター事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 中国高校生の招へい事業
- (3) ネットワーク整備事業（派遣）
- (4) ネットワーク整備事業（招へい）

### 2. 催し等事業費

- (1) 中国「ふれあいの場」事業（共同設置）
- (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

### 3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（ウェブサイト構築・運営）

### 4. 調査研究費

- (1) ネットワーク整備事業（交流担い手ネットワーク構築）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 12,219,313 円

	事業名	期間	事業内容
1	コミュニティサイト「心連心ウェブサイト」の運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	財団法人日中友好会館からの受託により、「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として同会館が日本に招へいする中国の高校生、中国に派遣する日本の高校生を対象に、来日を通して形成された人間関係の持続・発展を目的に、日中交流センターが管理運営する「心連心ウェブサイト」の一部を提供し、高校生交流のコミュニティ・ページを運営 URL: <a href="http://tanki.chinacenter.jp/">http://tanki.chinacenter.jp/</a>

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中国高校生の招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の一般市民が中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 87,023,958 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい事業（第4期生）	35	2009.09.01 ~ 2010.07.24	日中両国の青少年の間で、「人と人」の心の繋がりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的に、中国の高校生を11カ月間日本に招へいし、日本の社会と文化を知り、日本人と直接交流する機会を提供。第4期生として計35名を招へい
2	中国高校生長期招へい事業（第5期生）	38	2010.08.31 ~ 2011.07.23	日中両国の青少年の間で、「人と人」の心の繋がりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的に、中国の高校生を11カ月間日本に招へいし、日本の社会と文化を知り、日本人と直接交流する機会を提供。第5期生として計38名を招へい
3	中国高校生長期招へい事業 （フォローアップ）	—	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国高校生長期招へい事業で招へいした生徒が帰国した後、対日親近感の維持や卒業生同士のネットワーク拡大のため、交流会等のフォローアップを実施。また、必要に応じて、大学進学時のバックアップなどを実施

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (3) ネットワーク整備事業 (派遣)

中国各地で展開している対日理解促進のためのスペース「ふれあいの場」を中心に、日中の若い世代が主体的に参画することにより双方の友情と信頼関係を築くための派遣事業を行う。

合計額 8,321,634 円

	事業名	人数	受入機関	期間	事業内容
1	大学生交流事業 (広州)	11	中山大学	2011.03.08 ~ 2011.03.13	広州ふれあいの場において、日本の学生が中心となって企画を行なった日中交流事業(日本文化紹介イベント)を実施。日中学生会議を開催するとともに名古屋大学学生計11名が日中学生交流祭を実施
2	大学生交流事業 (南京)	5	金陵図書館	2011.03.10 ~ 2011.03.14	南京ふれあいの場において、日本の学生が中心となって企画を行なった日中交流事業(日本文化紹介イベント)を実施。名古屋大学大学院生5名が日本舞踊を実施
3	高校生「ふれあいの場」訪問事業	18	広島・四川中日友好会館	2011.03.20 ~ 2011.03.25	日中の青少年交流の促進と、ふれあいの場の知名度向上・活性化を目的に、成都ふれあいの場に、日本人高校生18名を派遣

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (4) ネットワーク整備事業 (招へい)

日中の若い世代で双方の友情と信頼関係に基づいたネットワークの形成を促進するための招へい事業を行う。

合計額 1,777,233 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	重慶ふれあいの場関係者招へい	7	2011.02.13 ~ 2011.02.18	平成22年度に新規開設した「重慶ふれあいの場」の担当者及び協力機関の関係者を招へいし、「ふれあいの場」運営のための研修を実施するとともに、日本事情の理解を深めるために視察を実施。 重慶大学、重慶師範大学、四川外語学院、西南大学から7名を招へい。東京、京都を訪問

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (1) 中国「ふれあいの場」事業（共同設置）

現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する

合計額 15,317,773 円

	事業名	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	成都ふれあいの場	成都	広島・四川中日友好会館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に日中共同で「ふれあいの場」を設置。日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴のほか、日本語コーナー、新年会、日本の高校生訪中団受け入れ等の交流イベントに4,193人が参加
2	長春ふれあいの場	長春	長春図書館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国吉林省長春市の長春図書館内に日中共同で「ふれあいの場」を設置。日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴のほか、仙台市訪問団、日本語教師研修会等のイベントに1,881名が参加
3	南京ふれあいの場	南京	金陵図書館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国江蘇省南京市の金陵図書館内に日中共同で「ふれあいの場」を設置。日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴のほか、講演会、J-POPコンサート、日本舞踊ワークショップ等のイベントに3,934名が参加
4	ふれあいの場担当者訪日研修			2010.08.23 ~ 2010.08.31	中国の8地方都市に展開中である各「ふれあいの場」から1名ずつ現場の担当者を招へいし、「ふれあいの場」運営に資する機関訪問、相互のネットワーク作りのための研修・視察を実施。8カ所から各1名、合計8名の担当者が参加
5	ふれあいの場巡回公演事業			2011.03.12 ~ 2011.03.21	日本文化と接する機会が限られている中国の地方都市にて、日中の音楽を通じた交流を図り、日本への親近感・関心を高めるために、「ふれあいの場」とも連携しつつJPOP公演を実施。当初、南京、青島、重慶で実施予定であったが、東日本大震災の発生により南京公演のみ実施

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 10,454,411 円

	助成対象機関	都市	期間	事業内容
1	黒龍江大学東語学院	ハルビン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	黒龍江大学東語学院に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語交流会、日本語スピーチコンテスト等のイベントに1,252名が参加
2	延辺大学日本学研究所	延吉	2010.04.01 ~ 2011.03.31	延辺大学日本学研究所に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、運動会等のイベントに2,104名が参加
3	連雲港少年児童図書館	連雲港	2010.04.01 ~ 2011.03.31	連雲港少年児童図書館に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、アニメ映画上映会、姉妹都市（佐賀市）訪問団との交流等のイベントに1,843人が参加
4	青海民族大学	西寧	2010.04.01 ~ 2011.03.31	青海民族大学に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、留学生交流会等のイベントに6,966名が参加
5	重慶師範大学	重慶	2010.04.01 ~ 2011.03.31	重慶師範大学に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、開設記念の日本文化祭、日本語朗読コンテスト、ジャパンデー（茶道ワークショップ）等のイベントに3,661名が参加
6	中山大学	広州	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中山大学に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語作文コンテスト、日中学生交流祭等のイベントに975人が参加

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (ウェブサイト構築・運営)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図るため、ウェブサイトを構築・運営。

合計額 20,999,166 円

	事業名	期間	事業内容
1	「心連心ウェブサイト」のサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日中間の交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくための専用ウェブサイト「心連心ウェブサイト」の運営
2	「心連心ウェブサイト」のコンテンツ管理	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「心連心ウェブサイト」において、日本と中国の若い世代の間で人気の高い、映像、音楽、ファッション、グルメ等の最新情報、日本と中国の現役大学生による大学の紹介、アニメを通じた日本の文化の紹介等の情報を発信
3	「心連心ウェブサイト」のサイト広報	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「心連心ウェブサイト」の周知を図り、閲覧者を増やすために必要な各種広報を実施。平成22年度は日本語・中国語併記の専用チラシを作成

4. 調査研究費 / (1) ネットワーク整備事業 (交流担い手ネットワーク構築)

日中交流促進にかかる環境整備 (中国での日本文化紹介ラジオ番組など)。

合計額 5,170,752 円

	事業名	期間	事業内容
1	上海世界旅遊資源博覧会でのブース出展・広報	2010.05.27 ~ 2010.05.29	上海国際博覧会 (上海万博) 期間中に開催された「上海世界旅遊資源博覧会」(10.05.27~29)にブースを出展。各種展示や動画、配布資料を通して「ふれあいの場」「心連心ウェブサイト」の広報を実施
2	上海国際博覧会で『中国高校生が見た日本』上映	2010.06.07 ~ 2010.06.10	上海国際博覧会 (上海万博) 日本館にて国際交流基金主催邦楽公演と組み合わせて中国高校生長期招へい事業の第3期生・第4期生計4名の留學生活の様子を紹介する映像を上映
3	ラジオ番組制作・放送事業	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組『音楽新幹線』を制作し、中国国内各地域の主要FMラジオ局で放送